

高校演劇のドキュメンタリー 自主上映会 受付中!!

あなたの街で上映会を開いてみませんか？

コロナ禍に、島根県の小さな分校の演劇同好会を追ったドキュメンタリー『走れ！走れ走れメロス』と『メロスたち』の自主上映のご相談を受け付けています。お住まいの地域やコミュニティで上映しようとお考えの際はお気軽にご連絡いただけたら幸いです。

走れ！ 走れ走れメロス

駆け出した青春は、止まらない。
“好きなこと”に出会った高校生たちの物語

第14回下北沢映画祭
審査員特別賞・観客賞・小田急電鉄賞
下北沢商店連合会会長賞

うえた城下町映画祭
自主制作映画コンテスト
実行委員会特別賞

第42回「地方の時代」映像祭
市民・学生・自治体部門
優秀賞

東京ドキュメンタリー映画祭2022
入選

おおぶ映画祭2023
入選

メロスたち

—— また いつか 会おう
演劇と男子高校生。始まりから終わりまで

- ✓ 上映はブルーレイディスクで！
- ✓ 上映1カ月前までにご相談を！
- ✓ 個別に料金相談応じます！



公式サイト



公式X

【連絡先】

合同会社プロダクション26 お問い合わせ
mail: contact@production26.jp

※メールタイトルに「『走れ！走れ走れメロス』自主上映について」とご記入ください。

自主上映のお申し込みについて

1 作品概要

『走れ！走れ走れメロス』(53分)は、島根の小さな分校・県立三刀屋高校掛合分校2年の男子高校生4人が演劇と出会い、コロナ禍による無観客上演などを経験しながら、演劇に熱中していく様子を収めています。続編『メロスたち』(76分)では、3年生になった4人のうち、1人は上京して役者の道を目指します。ほかの3人も演劇への思いを抱えながら自身の進路を選んでいきます。



『走れ！走れ走れメロス』

(53分 / ステレオ / ビスタ / カラー / 日本 / 2023年)

全校生徒70名。島根県にある最も小さな高校で4人の高校生たちがはじめて演劇を始めた。「対人関係が少し苦手」「ずっと机に向かうのも得意じゃない」「熱中できるものなんてない」など、それぞれの劣等感と向き合いながら、演劇に魅せられていく4人。そんな彼らが、担任の亀尾佳宏と共に初舞台に選んだ題材は、太宰治の名作『走れメロス』だった。

新型コロナウイルス感染症の影響が残る2021年夏、島根県東部の雲南市にある県立三刀屋高校掛合分校で、初めて演劇に触れた高校生4人を追ったドキュメンタリー映画。第14回下北沢映画祭で審査員特別賞をはじめ四冠を受賞したほか、うえだ城下町映画祭実行委員会特別賞受賞、東京ドキュメンタリー映画祭2022入選など、全国各地の映画祭で話題になった。

『メロスたち』

(76分 / ステレオ / ビスタ / カラー / 日本 / 2023年)

演劇と出会い、舞台に立つことの喜びを知った高校生たちをカメラに収めたドキュメンタリー映画『走れ！走れ走れメロス』から1年。続編新作にあたる『メロスたち』では、高校卒業を目前に控え、孤独や葛藤、焦燥を抱える彼らそれぞれの「選択」を軸に物語が動いていく。

太宰治の小説『走れメロス』を基にした創作舞台『走れ！走れ走れメロス』で、コロナ禍にもかかわらず予想外の評価を得た島根県の掛合分校演劇同好会。しかし、演劇の世界に導いた顧問は異動し、4人だけのメンバーも3年生に進級。それぞれ進路を決める中、曾田昇吾は1人で中国大会の舞台に立っていた。「オレだけ演劇やっていいんですかね」。卒業が近づいていた。



2 料金について

1作品1上映につき、入場者数に500円を乗じた金額となります。例えば、30人来場の場合は、30×500で15,000円を請求させていただきます。ただし、高校生や大学生、また教育に携わる人向けの上映の場合は、予算に応じてより低い金額で対応可能ですのでご相談ください。お示しした金額はあくまで原則になりますので、上映規模や予算規模に応じてご提案させていただきます。詳細は公式WEBサイト (<https://www.run3melos.com/>) をご確認ください。

3 上映方法について

こちらからブルーレイディスクを郵送いたします。その他の上映設備として必要になる、プロジェクターやスクリーン、スピーカーなどはご準備していただきます。また、独自の宣伝物作成用にB5チラシのデザインデータ (Adobe illustrator) や場面写真データを無償でご提供いたします。

4 これまでの自主上映実績

公益財団法人広島市文化財団アステールプラザ、公益財団法人金沢文化振興財団、公益財団法人山口市文化振興財団、武豊ゆめたろうプラザ、別府大学、四国学院大学、東北芸術工科大学、百景社アトリエ、諫早独楽劇場、させばガレージ劇場、認定NPO法人カタリバ、シネマ・デ・アエル、島根県教育研究の会、Kinema☆Kinboshi など